

7. リアルタイム PCR による肉種鑑別

保健科学課 本田 己喜子・鶴田 小百合
赤木 浩一

第 34 回九州衛生環境技術協議会

福岡市内で市販された食肉加工品 56 検体について、リアルタイム PCR による肉種鑑別を行った。54 検体からは食品表示に記載された肉種が検出されたが、2 検体からは表示に記載された肉種が検出されなかった。36 検体からは、表示に記載されていない肉種が検出され、特に腸詰めソーセージでは、15 検体からヒツジ mtDNA が検出されたが、その多くはケーシングに使用した羊腸由来と考えられた。また、この 36 検体中 11 検体から、トリ、ウシ、およびウシとトリの mtDNA がそれぞれ検出されたが、結着材料由来と考えられた。